

Cisco ASDM 7.17(x) リリースノート

Cisco ASDM 7.17(x) リリースノート

このドキュメントには、Cisco ASA シリーズ対応 Cisco ASDM バージョン 7.17(x) のリリース情報が記載されています。

特記事項

- **9.17(1.13)/7.18(1.152) 以降で ASDM 署名付きイメージをサポート** : ASA は、ASDM イメージがシスコのデジタル署名付きイメージであるかどうかを検証するようになりました。この修正を適用した ASA バージョンで古い ASDM イメージを実行しようとする、ASDM がブロックされ、「%ERROR: Signature not valid for file disk0:/<filename>」というメッセージが ASA CLI に表示されます。ASDM リリース 7.18(1.152) 以降は、この修正が適用されていないものも含め、すべての ASA バージョンと下位互換性があります。(CSCwb05291、CSCwb05264)
- **9.17(1) 以降では ASA 5506-X、5506H-X、5506W-X、ASA 5508-X、および ASA 5516-X はサポートされていません。** ASA 9.16(x) が最後にサポートされたバージョンです。ASA 5508-X および 5516-X の ASA FirePOWER モジュールの場合、最後にサポートされる組み合わせは 9.16/7.0 です。
- **9.17(1) 以降の ISA 3000 での ASA FirePOWER モジュールはサポートされていません。** ISA 3000 は ASA 9.17 以降で引き続きサポートされます。ただし、ASA Fire POWER モジュールでサポートされる最後の組み合わせは 9.16/7.0 です。
- **9.17(1) 以降でのクライアントレス SSL VPN はサポートされていません。** クライアントレス SSL VPN はサポートされなくなりました。
 - **webvpn** : 次のサブコマンドが削除されています。
 - **apcf**
 - **java-trustpoint**
 - **onscreen-keyboard**
 - **port-forward**
 - **portal-access-rule**
 - **rewrite**
 - **smart-tunnel**
 - **group-policy webvpn** : 次のサブコマンドが削除されています。

- **port-forward**
- **smart-tunnel**
- **ssl-clientless**

- **ASDM アップグレードウィザード**：2022年3月以降の内部変更により、アップグレードウィザードは ASDM 7.17(1.152) より前のバージョンでは機能しなくなります。ウィザードを使用するには、手動で 7.17(1.152) にアップグレードする必要があります。
- **ASDM 7.18 で Java Web Launch のサポートが終了**：ASDM 7.18 以降、Oracle による JRE 8 および Java Network Launching Protocol (JNLP) のサポートが終了したため、ASDM は Java Web Start をサポートしません。ASDM を起動するには、ASDMLauncher をインストールする必要があります。

システム要件

このセクションでは、このリリースを実行するためのシステム要件を一覧表で示します。

ASDM Java の要件

ASDM は、Oracle JRE 8.0 (**asdm-version.bin**) または OpenJRE 1.8.x (**asdm-openjre-version.bin**) を使用してインストールできます。



(注) ASDM は Linux ではテストされていません。

表 1: ASDM オペレーティングシステムとブラウザの要件

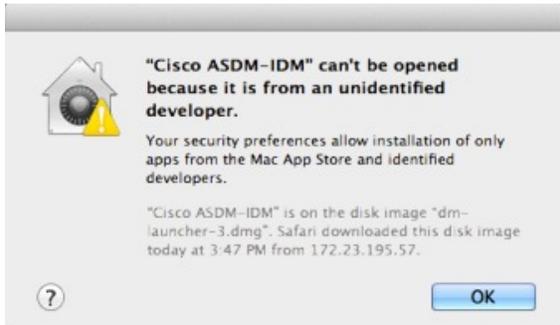
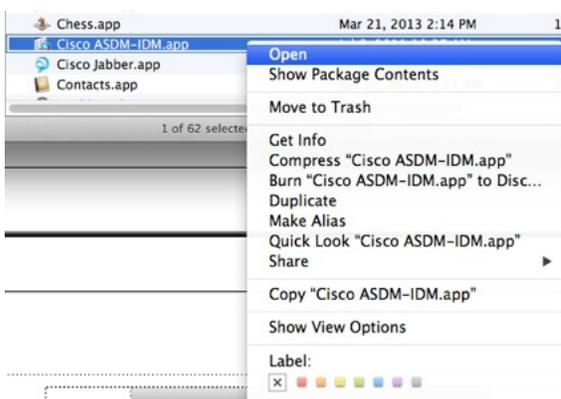
オペレーティング システム	ブラウザ			Oracle JRE	OpenJRE
	Firefox	Safari	Chrome		
Microsoft Windows（英語および日本語）： <ul style="list-style-type: none"> • 10 (注) ASDM ショートカットに問題がある場合は、ASDM の互換性に関する注意事項 (3 ページ) の「Windows 10」を参照してください。 • 8 • 7 • Server 2016 と Server 2019 • Server 2012 R2 • Server 2012 • Server 2008 	対応	サポートなし	対応	8.0	1.8 (注) Windows 7 32 ビットのサポートなし
Apple OS X 10.4 以降	対応	対応	対応 (64 ビットバージョンのみ)	8.0	1.8

ASDM の互換性に関する注意事項

次の表に、ASDM の互換性に関する警告を示します。

条件	注意
Windows	<p>「Java アプリケーションがブロックされました (Java Application blocked)」というエラーメッセージ。</p> <p>ASDM Web ランチャーを起動すると、Oracle によってアプリケーションの実行がブロックされ、アプリケーションのセキュリティレベルを設定するように求められる場合があります。ポップアップ通知には Java の Web ページへのリンクが記載されており、このページに回避手順が示されています。</p> 

条件	注意
Windows 10	<p>「This app can't run on your PC」エラー メッセージ。</p> <p>ASDM ランチャをインストールすると、Windows 10 によって ASDM ショートカットターゲットが Windows Scripting Host パスに置き換えられて、このエラーが発生することがあります。ショートカットターゲットを修正するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. [Start] > [Cisco ASDM-IDM Launcher] を選択し、[Cisco ASDM-IDM Launcher] アプリケーションを右クリックします。2. [More] > [Open file location] を選択します。 Windows は、ショートカットアイコンを使用してディレクトリを開きます。3. ショートカットアイコンを右クリックして、[Properties] を選択します。4. [Target] を次のように変更します。 C:\Windows\System32\wscript.exe invisible.vbs run.bat5. [OK] をクリックします。
OS X	<p>OS X では、ASDM の初回実行時に、Java のインストールを要求される場合があります。必要に応じて、プロンプトに従います。インストールの完了後に ASDM が起動します。</p>

条件	注意
OS X 10.8 以降	<p>ASDM は Apple Developer ID で署名されていないため、実行できるようにする必要があります。セキュリティの設定を変更しないと、エラー画面が表示されます。</p>  <p>1. ASDM を実行できるようにするには、[Cisco ASDM-IDM Launcher] アイコンを右クリック（または Ctrl キーを押しながらクリック）して、[Open] を選択します。</p>  <p>2. 同様のエラー画面が表示されますが、この画面から ASDM を起動できます。[Open] をクリックします。ASDM-IDM ランチャが起動します。</p> 

条件	注意
<p>ASA では強力な暗号化ライセンス (3DES/AES) が必要</p> <p>(注) スマートライセンスモデルを使用すると、強力な暗号化ライセンスを使用せずに ASDM での最初のアクセスが可能になります。</p>	<p>ASDM では、ASA に SSL 接続する必要があります。シスコが提供している 3DES ライセンスを要求できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. www.cisco.com/go/license にアクセスします。 2. [Continue to Product License Registration] をクリックします。 3. ライセンシング ポータルで、テキストフィールドの横にある [Get Other Licenses] をクリックします。 4. ドロップダウンリストから、[IPS, Crypto, Other...] を選択します。 5. [Search by Keyword] フィールドに「ASA」と入力します。 6. [Product] リストで [Cisco ASA 3DES/AES License] を選択し、[Next] をクリックします。 7. ASA のシリアル番号を入力し、プロンプトに従って ASA の 3DES/AES ライセンスを要求します。
<ul style="list-style-type: none"> • 自己署名証明書または信頼できない証明書 • IPv6 • Firefox および Safari 	<p>ASA が自己署名証明書または信頼できない証明書を使用する場合、Firefox と Safari では、IPv6 を介した HTTPS を使用して参照する場合にはセキュリティ例外を追加することはできません。</p> <p>https://bugzilla.mozilla.org/show_bug.cgi?id=633001 を参照してください。この警告は、Firefox または Safari から ASA に発信されるすべての SSL 接続に影響します (ASDM 接続を含む)。この警告を回避するには、信頼できる認証局が ASA に対して発行した適切な証明書を設定します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • ASA で SSL 暗号化を行うには、RC4-MD5 と RC4-SHA1 を両方とも含めるか、Chrome で SSL false start を無効にする必要があります。 • Chrome 	<p>RC4-MD5 および RC4-SHA1 アルゴリズム (これらのアルゴリズムはデフォルトでイネーブル) の両方を除外するために ASA の SSL 暗号化を変更した場合、Chrome の「SSL false start」機能のために Chrome は ASDM を起動できません。これらのアルゴリズムの 1 つを再度有効にすることを推奨します ([Configuration] > [Device Management] > [Advanced] > [SSL Settings] ペインを参照)。または、Run Chromium with flags に従って <code>--disable-ssl-false-start</code> フラグを使用して Chrome の SSL false start を無効にできます。</p>

ASDM のアイデンティティ証明書のインストール

Java 7 Update 51 以降を使用する場合、ASDM ランチャには信頼できる証明書が必要です。証明書の要件は、自己署名付きの ID 証明書をインストールすることによって簡単に満たすことができます。証明書をインストールするまで、Java Web Start を使用して ASDM を起動することができます。

ASDM と一緒に使用するために ASA に自己署名アイデンティティ証明書をインストールしたり、証明書を Java に登録したりするには、『[Install an Identity Certificate for ASDM](#)』を参照してください。

ASDM コンフィギュレーションメモリの増大

ASDM でサポートされる最大設定サイズは 512 KB です。このサイズを超えると、パフォーマンスの問題が生じることがあります。たとえば、コンフィギュレーションのロード時には、完了したコンフィギュレーションの割合がステータスダイアログボックスに表示されます。このとき、サイズの大きいコンフィギュレーションでは、ASDM によってまだコンフィギュレーションの処理が行われていても、完了した割合の増分が停止し、操作が中断されているように見えます。このような状況が発生した場合は、ASDM システム ヒープメモリの増大を検討することを推奨します。

Windows での ASDM コンフィギュレーションメモリの増大

ASDM ヒープメモリ サイズを増大するには、次の手順を実行して **run.bat** ファイルを編集します。

手順

-
- ステップ 1** ASDM インストールディレクトリ（たとえば、C:\Program Files (x86)\Cisco Systems\ASDM）に移動します。
 - ステップ 2** 任意のテキストエディタを使用して **run.bat** ファイルを編集します。
 - ステップ 3** 「start javaw.exe」で始まる行で、「-Xmx」のプレフィックスが付いた引数を変更し、目的のヒープサイズを指定します。たとえば、768 MB の場合は -Xmx768M に変更し、1 GB の場合は -Xmx1G に変更します。
 - ステップ 4** **run.bat** ファイルを保存します。
-

Mac OS での ASDM コンフィギュレーションメモリの増大

ASDM ヒープメモリ サイズを増大するには、次の手順を実行して **Info.plist** ファイルを編集します。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco ASDM-IDM] アイコンを右クリックし、[Show Package Contents] を選択します。

ステップ 2 [Contents] フォルダで、Info.plist ファイルをダブルクリックします。開発者ツールをインストールしている場合は、**プロパティ リスト エディタ**で開きます。そうでない場合は、**TextEdit**で開きます。

ステップ 3 [Java]>[VMOptions]で、「-Xmx」のプレフィックスが付いた文字列を変更し、必要なヒープサイズを指定します。たとえば、768 MB の場合は -Xmx768M に変更し、1 GB の場合は -Xmx1G に変更します。

```
<key>CFBundleIconFile</key>
<string>asdm32.icns</string>

<key>VMOptions</key>
<string>-Xms64m -Xmx512m</string>
```

```
<key>CFBundleDocumentTypes</key>
<array>
```

ステップ 4 このファイルがロックされると、次のようなエラーが表示されます。



ステップ 5 [Unlock] をクリックし、ファイルを保存します。

[Unlock] ダイアログボックスが表示されない場合は、エディタを終了します。[Cisco ASDM-IDM] アイコンを右クリックし、[Copy Cisco ASDM-IDM] を選択して、書き込み権限がある場所（デスクトップなど）に貼り付けます。その後、このコピーからヒープサイズを変更します。

ASA と ASDM の互換性

ASA/ASDM ソフトウェアおよびハードウェアの要件およびモジュールの互換性を含む互換性の詳細については、『[Cisco ASA Compatibility](#)』を参照してください。

VPN の互換性

VPN の互換性については、『[Supported VPN Platforms, Cisco ASA 5500 Series](#)』を参照してください。

新機能

このセクションでは、各リリースの新機能を示します。



(注) syslog メッセージガイドに、新規、変更済み、および廃止された syslog メッセージを記載しています。

ASDM 7.17(1.155) の新機能

リリース日：2022 年 6 月 28 日

このリリースに新機能はありません。

ASDM 7.17(1.152) の新機能

リリース日：2022 年 2 月 8 日

このリリースに新機能はありません。

ASA 9.17(1)/ASDM 7.17(1) の新機能

リリース日：2021 年 12 月 1 日

機能	説明
プラットフォーム機能	
Cisco Secure Firewall 3100	<p>Cisco Secure Firewall 3110、3120、3130、および 3140 の ASA が導入されました。Cisco Secure Firewall 3100 は、スパンド EtherChannel クラスタリングで最大 6 ユニットのサポートします。ファイアウォールの電源が入っているときに、再起動することなく、同じタイプのネットワークモジュールをホットスワップできます。他のモジュールの変更を行う場合には、再起動が必要です。Secure Firewall 3100 25 Gbps インターフェイスは、Forward Error Correction と、インストールされている SFP に基づく速度検出をサポートします。SSD は自己暗号化ドライブ (SED) です。SSD が 2 つある場合、ソフトウェア RAID を形成します。</p> <p>新規/変更されたコマンド：fec, netmod, speed sfp-detect, raid, show raid, show ssd</p> <p>新しい/変更された画面：</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Configuration] > [Device Management] > [Advanced] > [EPM] • [Configuration] > [Device Settings] > [Interfaces] > [Edit Interface] > [Configure Hardware Properties]

機能	説明
自動スケールに対する ASA のサポート	<p>ASA は、次のパブリッククラウドサービスの自動スケールをサポートするようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Google Cloud Platform (GCP) • Oracle Cloud Infrastructure (OCI) <p>自動スケールリングは、キャパシティの要件に基づいて ASA アプリケーションのインスタンス数を増減します。</p>
AWS の ASA で拡張インスタンスのサポート	<p>AWS パブリッククラウド上の ASA は、異なる Nitro インスタンスファミリーから AWS Nitro システムインスタンスをサポートするようになりました。</p> <p>AWS 用 ASA により、次のインスタンスのサポートが追加されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • c5a.large、c5a.xlarge、c5a.2xlarge、c5a.4xlarge • c5d.large、c5d.xlarge、c5d.2xlarge、c5d.4xlarge • c5ad.large、c5ad.xlarge、c5ad.2xlarge、c5ad.4xlarge • m5n.large、m5n.xlarge、m5n.2xlarge、m5n.4xlarge • m5zn.large、m5zn.xlarge、m5zn.2xlarge <p>サポートされているインスタンスの詳細なリストについては、『Cisco Adaptive Security Virtual Appliance (ASA) Data Sheet』を参照してください。</p>
Azure の ASA 拡張インスタンスのサポート	<p>Azure パブリッククラウド上の ASA は、次のインスタンスをサポートするようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Standard_D8s_v3 • Standard_D16s_v3 • Standard_F8s_v2 • Standard_F16s_v2 <p>サポートされているインスタンスの詳細なリストについては、『Cisco Adaptive Security Virtual Appliance (ASA) Data Sheet』を参照してください。</p>
ASA の Intel® QuickAssist テクノロジー (QAT)	<p>ASA は、Intel QuickAssist (QAT) 8970 PCI アダプタを使用する ASA 展開にハードウェア暗号化アクセラレーションを提供します。ASA を使用した ASA のハードウェア暗号化アクセラレーションは、VMware ESXi および KVM でのみサポートされます。</p>
OCI 上の ASA に対する Single Root I/O Virtualization (SR-IOV) のサポート	<p>OCI 上の ASA に Single Root Input/Output Virtualization (SR-IOV) を実装できるようになりました。SR-IOV により、ASA のパフォーマンスを向上させることができます。SR-IOV モードでの vNIC としての Mellanox 5 はサポートされていません。</p>

機能	説明
ファイアウォール機能	
変換後（マップ後）の宛先としての完全修飾ドメイン名（FQDN）オブジェクトの Twice NAT サポート	<p>www.example.com を指定する FQDN ネットワークオブジェクトを、Twice NAT ルールの変換後（マップ後）の宛先アドレスとして使用できます。システムでは、DNS サーバーから返された IP アドレスに基づいてルールが設定されます。</p>
ネットワークサービス オブジェクトと、ポリシーベースのルーティングおよびアクセス制御におけるネットワークサービス オブジェクトの使用	<p>ネットワークサービス オブジェクトを設定し、それらを拡張アクセス コントロール リストで使用して、ポリシーベース ルーティングルート マップおよびアクセス コントロールグループで使用できます。ネットワークサービス オブジェクトには、IP サブネットまたは DNS ドメイン名の仕様が含まれ、オプションでプロトコルとポートの仕様が含めます。これらは、基本的にネットワークオブジェクトとサービスオブジェクトを結合します。この機能には、信頼できる DNS サーバーを定義して、DNS ドメイン名解決が信頼できる送信元から IP アドレスを確実に取得できるようにする機能も含まれています。</p> <p>次の画面が追加または変更されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Configuration] > [Device Setup] > [Routing] > [Route Maps] の順に移動し、[Add/Edit] ダイアログボックスを追加します。 • [Configuration] > [Device Setup] > [Interface Settings] > [Interfaces] の順に移動し、[Add/Edit] ダイアログボックスを追加します。 • [Configuration] > [Firewall] > [Objects] > [Network Services Objects/Groups] • [Configuration] > [Device Management] > [DNS] > [DNS Client]
ハイ アベイラビリティとスケーラビリティの各機能	
VMware および KVM 用の ASA v30、ASA v50、および ASA v100 クラスタリング	<p>ASA v クラスタリングを使用すると、最大 16 の ASA v を単一の論理デバイスとしてグループ化できます。クラスタは、単一デバイスのすべての利便性（管理、ネットワークへの統合）を備える一方で、複数デバイスによって高いスループットおよび冗長性を達成します。ASA v クラスタリングは、ルーテッドファイアウォールモードの個別インターフェイスモードをサポートします。スパンドEtherChannelはサポートされていません。ASA v は、クラスタ制御リンクに VXLAN 仮想インターフェイス（VNI）を使用します。</p> <p>新しい/変更された画面：</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Configuration] > [Device Setup] > [Interface Settings] > [Interfaces] • [Configuration] > [Device Management] > [High Availability and Scalability] > [ASA Cluster]

機能	説明
<p>ハイアベイラビリティグループまたはクラスタ内のルートのカリア</p>	<p>以前のリリースでは、clear route コマンドはユニットのルーティングテーブルのみをクリアしました。現在、ハイアベイラビリティグループまたはクラスタで動作している場合、コマンドはアクティブユニットまたはコントロールユニットでのみ使用でき、グループまたはクラスタ内のすべてのユニットのルーティングテーブルをクリアします。</p> <p>clear route コマンドが変更されました。</p>
インターフェイス機能	
<p>ASAv の Geneve インターフェイスサポート</p>	<p>AWS ゲートウェイロードバランサのシングルアームプロキシをサポートするために、ASAv30、ASAv50、および ASAv100 の Geneve カプセル化サポートが追加されました。</p> <p>新しい/変更された画面：</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Configuration] > [Device Setup] > [Interface Settings] > [Interfaces] > [Add] > [VNI Interface] • [Configuration] > [Device Setup] > [Interface Settings] > [VXLAN]
<p>Secure Firewall 3100 の自動ネゴシエーションは、1ギガビット以上のインターフェイスで有効または無効にすることができます。</p>	<p>Secure Firewall 3100 の自動ネゴシエーションは、1ギガビット以上のインターフェイスで有効または無効にすることができます。他のモデルの SFP ポートの場合、no speed negotiate オプションは速度を 1000 Mbps に設定します。新しいコマンドは、自動ネゴシエーションと速度を個別に設定できることを意味します。</p> <p>新規/変更された画面：</p> <p>[Configuration] > [Device Setup] > [Interface Settings] > [Interfaces] > [Advanced]</p>
管理およびトラブルシューティングの機能	
<p>起動時間と tmatch コンパイルステータス。</p>	<p>show version コマンドには、システムの起動（ブート）にかかった時間に関する情報が含まれるようになりました。設定が大きいほど、システムの起動に時間がかかることに注意してください。</p> <p>新しい show asp rule-engine コマンドは、tmatch コンパイルのステータスを表示します。Tmatch コンパイルは、アクセスグループ、NAT テーブル、およびその他のいくつかの項目として使用されるアクセスリストに使用されます。これは、非常に大きな ACL と NAT テーブルがある場合には、CPU リソースを消費し、進行中のパフォーマンスに影響を与える可能性がある内部プロセスです。コンパイル時間は、アクセスリスト、NAT テーブルなどのサイズによって異なります。</p>

機能	説明
show access-list element-count 出力の拡張と show tech-support コンテンツの強化	<p>show access-list element-count の出力は、次のように拡張されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> マルチコンテキストモードのシステムコンテキストで使用すると、出力には、すべてのコンテキストのすべてのアクセスリストの要素数が表示されます。 オブジェクトグループ検索を有効にして使用すると、出力には要素数のオブジェクトグループの数に関する詳細が含まれます。 <p>さらに、show tech-support 出力には show access-list element-count と show asp rule-engine の出力が含まれます。</p>
CiscoSSH スタック	<p>ASA は、SSH 接続に独自の SSH スタックを使用します。代わりに、OpenSSH に基づく CiscoSSH スタックを使用するように選択できるようになりました。デフォルトスタックは引き続き ASA スタックです。Cisco SSH は次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> FIPS の準拠性 シスコおよびオープンソースコミュニティからの更新を含む定期的な更新 <p>CiscoSSH スタックは次をサポートしないことに注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> VPN を介した別のインターフェイスへの SSH (管理アクセス) EdDSA キーペア FIPS モードの RSA キーペア <p>これらの機能が必要な場合は、引き続き ASA SSH スタックを使用する必要があります。</p> <p>CiscoSSH スタックでは、SCP 機能に若干の変更があります。ASA copy コマンドを使用して SCP サーバとの間でファイルをコピーするには、ASA で SCP サーバサブネット/ホストの SSH アクセスを有効にする必要があります。</p> <p>新しい/変更された画面：</p> <ul style="list-style-type: none"> シングルコンテキストモード：[Configuration] > [Device Management] > [Management Access] > [ASDM/HTTPS/Telnet/SSH] マルチコンテキストモード：[Configuration] > [Device Management] > [SSH Stack]
パケットトレーサでの PCAP サポート	<p>パケットトレーサツールで PCAP ファイルを再生し、トレース結果を取得できます。pcap および force は、パケットトレーサでの PCAP の使用をサポートするための 2 つの新しいキーワードです。</p> <p>新規/変更されたコマンド：packet-tracer input および show packet-tracer</p>

機能	説明
より強力なローカルユーザーと有効なパスワード要件	<p>ローカルユーザーと有効なパスワードについて、次のパスワード要件が追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • パスワードの長さ：8 文字以上。以前は、最小値が 3 文字でした。 • 繰り返し文字と連続文字：3 つ以上の連続した ASCII 文字または繰り返しの ASCII 文字は許可されません。たとえば、次のパスワードは拒否されます。 <ul style="list-style-type: none"> • abcuser1 • user543 • useraaaa • user2666 <p>新規/変更された画面：</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Configuration] > [Device Management] > [Users/AAA] > [User Accounts] • [Configuration] > [Device Setup] > [Device Name/Password]
ローカルユーザーのロックアウトの変更	<p>設定可能な回数のログイン試行に失敗すると、ASA はローカルユーザーをロックアウトする場合があります。この機能は、特権レベル 15 のユーザーには適用されませんでした。また、管理者がアカウントのロックを解除するまで、ユーザーは無期限にロックアウトされます。管理者がその前に clear aaa local user lockout コマンドを使用しない限り、ユーザーは 10 分後にロック解除されるようになりました。特権レベル 15 のユーザーも、ロックアウト設定が適用されるようになりました。</p> <p>新規/変更されたコマンド：aaa local authentication attempts max-fail、show aaa local user</p>
SSH および Telnet パスワード変更プロンプト	<p>ローカルユーザーが SSH または Telnet を使用して ASA に初めてログインすると、パスワードを変更するように求められます。また、管理者がパスワードを変更した後、最初のログインに対してもプロンプトが表示されます。ただし、ASA がリロードすると、最初のログインであっても、ユーザーにプロンプトは表示されません。</p> <p>VPN などのローカルユーザー データベースを使用するサービスは、SSH または Telnet ログイン中に変更された場合、新しいパスワードも使用する必要があることに注意してください。</p> <p>新規/変更されたコマンド：show aaa local user</p>
モニタリング機能	
SNMP は、ネットワークオブジェクトの形式で複数のホストをグループ化するとき IPv6 をサポートするようになりました	snmp-server コマンドの host-group コマンドは、IPv6 ホスト、範囲、およびサブネットオブジェクトをサポートするようになりました。

機能	説明
VPN 機能	
IKEv2 のローカルトンネル ID のサポート	IKEv2 のローカルトンネルID設定のサポートが追加されました。 新規/変更されたコマンド： set ikev2 local-identity
DAP 制約による SAML 属性のサポート	DAP ポリシーの選択に使用できる SAML アサーション属性のサポートが追加されました。また、 <i>cisco_group_policy</i> 属性でグループポリシーを指定する機能も導入されています。
IDP 設定の複数の SAML トラストポイント	この機能は、同じエンティティ ID の複数のアプリケーションをサポートするアプリケーションの SAML IDP 設定ごとに、複数の IDP トラストポイントの追加をサポートします。 新規/変更されたコマンド： saml idp-trustpoint <trustpoint-name>
AnyConnect VPN SAML 外部ブラウザ	AnyConnect VPN SAML 外部ブラウザを設定して、パスワードなしの認証、WebAuthN、FIDO2、SSO、U2F、Cookie の永続性による SAML エクスペリエンスの向上など、追加の認証の選択肢を有効にできるようになりました。リモートアクセス VPN 接続プロファイルのプライマリ認証方式として SAML を使用する場合は、AnyConnect クライアントクライアントが AnyConnect クライアント組み込みブラウザではなく、クライアントのローカルブラウザを使用して Web 認証を実行するように選択できます。このオプションは、VPN 認証と他の企業ログインの間のシングルサインオン (SSO) を有効にします。また、生体認証や Yubikeys など、埋め込みブラウザでは実行できない Web 認証方法をサポートする場合は、このオプションを選択します。 新規/変更された画面： [Remote Access VPN connection profile wizard] > [SAML Login Experience]
SAML を使用した VPN ロードバランシング	ASA は、SAML 認証を使用した VPN ロードバランシングをサポートするようになりました。

ソフトウェアのアップグレード

このセクションには、アップグレードを完了するためのアップグレードパス情報とリンクが記載されています。

ASA のアップグレードパス

現在のバージョンとモデルを表示するには、次のいずれかの方法を使用します。

- ASDM：**[Home] > [Device Dashboard] > [Device Information]** の順に選択します。
- CLI：**show version** コマンドを使用します。

次の表に、ASA のアップグレードパスを示します。バージョンによっては、新しいバージョンにアップグレードする前に、中間アップグレードが必要な場合があります。推奨バージョンは太字で示されています。



- (注) 開始バージョンと終了バージョンの間で、各リリースのアップグレードガイドラインを必ず確認してください。場合によっては、アップグレードする前に構成を変更する必要があります。そうしないと、停止が発生する可能性があります。



- (注) ASA のセキュリティの問題と、各問題に対する修正を含むリリースについては、[ASA Security Advisories](#) を参照してください。



- (注) ASA 9.16(x) は ASA 5506-X、5508-X、および 5516-X の最終バージョンです。
 ASA 9.14(x) は ASA 5525-X、5545-X、および 5555-X の最終バージョンです。
 ASA 9.12(x) は ASA 5512-X、5515-X、5585-X、および ASASM 用の最終バージョン、
 ASA 9.2(x) は ASA 5505 用の最終バージョン、
 ASA 9.1(x) は ASA 5510、5520、5540、5550、および 5580 用の最終バージョンです。

現在のバージョン	暫定アップグレードバージョン	ターゲットバージョン
9.16(x)	—	次のいずれかになります。 → 9.17(x)
9.15(x)	—	次のいずれかになります。 → 9.17(x) → 9.16(x)
9.14(x)	—	次のいずれかになります。 → 9.17(x) → 9.16(x) → 9.15(x)

現在のバージョン	暫定アップグレードバージョン	ターゲットバージョン
9.13(x)	—	次のいずれかになります。 → 9.17(x) → 9.16(x) → 9.15(x) → 9.14(x)
9.12(x)	—	次のいずれかになります。 → 9.17(x) → 9.16(x) → 9.15(x) → 9.14(x)
9.10(x)	—	次のいずれかになります。 → 9.17(x) → 9.16(x) → 9.15(x) → 9.14(x) → 9.12(x)
9.9(x)	—	次のいずれかになります。 → 9.17(x) → 9.16(x) → 9.15(x) → 9.14(x) → 9.12(x)
9.8(x)	—	次のいずれかになります。 → 9.17(x) → 9.16(x) → 9.15(x) → 9.14(x) → 9.12(x)

現在のバージョン	暫定アップグレードバージョン	ターゲットバージョン
9.7(x)	—	次のいずれかになります。 → 9.17(x) → 9.16(x) → 9.15(x) → 9.14(x) → 9.12(x) → 9.8(x)
9.6(x)	—	次のいずれかになります。 → 9.17(x) → 9.16(x) → 9.15(x) → 9.14(x) → 9.12(x) → 9.8(x)
9.5(x)	—	次のいずれかになります。 → 9.17(x) → 9.16(x) → 9.15(x) → 9.14(x) → 9.12(x) → 9.8(x)
9.4(x)	—	次のいずれかになります。 → 9.17(x) → 9.16(x) → 9.15(x) → 9.14(x) → 9.12(x) → 9.8(x)

現在のバージョン	暫定アップグレードバージョン	ターゲットバージョン
9.3(x)	—	次のいずれかになります。 → 9.17(x) → 9.16(x) → 9.15(x) → 9.14(x) → 9.12(x) → 9.8(x)
9.2(x)	—	次のいずれかになります。 → 9.17(x) → 9.16(x) → 9.15(x) → 9.14(x) → 9.12(x) → 9.8(x)
9.1(2)、9.1(3)、9.1(4)、9.1(5)、 9.1(6)、または 9.1(7.4)	—	次のいずれかになります。 → 9.14(x) → 9.12(x) → 9.8(x) → 9.1(7.4)
9.1(1)	→ 9.1(2)	次のいずれかになります。 → 9.14(x) → 9.12(x) → 9.8(x) → 9.1(7.4)

現在のバージョン	暫定アップグレードバージョン	ターゲットバージョン
9.0(2)、9.0(3)、または 9.0(4)	—	次のいずれかになります。 → 9.14(x) → 9.12(x) → 9.8(x) → 9.6(x) → 9.1(7.4)
9.0(1)	→ 9.0(4)	次のいずれかになります。 → 9.14(x) → 9.12(x) → 9.8(x) → 9.1(7.4)
8.6(1)	→ 9.0(4)	次のいずれかになります。 → 9.14(x) → 9.12(x) → 9.8(x) → 9.1(7.4)
8.5(1)	→ 9.0(4)	次のいずれかになります。 → 9.12(x) → 9.8(x) → 9.1(7.4)
8.4(5+)	—	次のいずれかになります。 → 9.12(x) → 9.8(x) → 9.1(7.4) → 9.0(4)
8.4(1) ~ 8.4(4)	→ 9.0(4)	→ 9.12(x) → 9.8(x) → 9.1(7.4)

現在のバージョン	暫定アップグレードバージョン	ターゲットバージョン
8.3(x)	→ 9.0(4)	次のいずれかになります。 → 9.12(x) → 9.8(x) → 9.1(7.4)
8.2(x) 以前	→ 9.0(4)	次のいずれかになります。 → 9.12(x) → 9.8(x) → 9.1(7.4)

アップグレードリンク

アップグレードを完了するには、『[ASA アップグレードガイド](#)』を参照してください。

未解決のバグおよび解決されたバグ

このリリースで未解決のバグおよび解決済みのバグには、Cisco Bug Search Tool を使用してアクセスできます。この Web ベース ツールから、この製品やその他のシスコハードウェアおよびソフトウェア製品でのバグと脆弱性に関する情報を保守するシスコバグトラッキングシステムにアクセスできます。



- (注) Cisco Bug Search Tool にログインしてこのツールを使用するには、Cisco.com アカウントが必要です。アカウントがない場合は、[アカウントを登録](#)できます。シスコサポート契約がない場合は、ID でのみバグを探ることができます。検索は実行できません。

Cisco Bug Search Tool の詳細については、[Bug Search Tool \(BST\) ヘルプおよび FAQ](#) を参照してください。

未解決のバグ

このセクションでは、各バージョンの未解決のバグを一覧表で示します。

バージョン 7.17(1.155) で未解決のバグ

次の表に、このリリースノートの発行時点で未解決のバグを示します。

ID	見出し
CSCvu01215	アプライアンスモード : CCO から ASA イメージをダウンロードしている間にチェックサムが一致しない問題
CSCvv17403	同時接続 preempt で遅延のなくトンネルの削除を無効にするためのチェックボックスが使用できない
CSCvv83043	9161/7161 CLI に従って VPN ウィザードで暗号を変更する必要がある

バージョン 7.17(1.152) で未解決のバグ

次の表に、このリリースノートの発行時点で未解決のバグを示します。

ID	見出し
CSCvu01215	アプライアンスモード : CCO から ASA イメージをダウンロードしている間にチェックサムが一致しない問題
CSCvv17403	同時接続 preempt で遅延のなくトンネルの削除を無効にするためのチェックボックスが使用できない
CSCvv83043	9161/7161 CLI に従って VPN ウィザードで暗号を変更する必要がある

バージョン 7.17(1) で未解決のバグ

次の表に、このリリースノートの発行時点で未解決のバグを示します。

不具合 ID 番号	説明
CSCvu01215	アプライアンスモード : CCO から ASA イメージをダウンロードしている間にチェックサムが一致しない問題
CSCvu60781	ASDM : Launcher 1.9.1 での MAC のサポートが必要
CSCvv17403	同時接続 preempt で遅延のなくトンネルの削除を無効にするためのチェックボックスが使用できない
CSCvv83043	9161/7161 CLI に従って VPN ウィザードで暗号を変更する必要がある

解決済みのバグ

このセクションでは、リリースごとに解決済みのバグを一覧表で示します。

バージョン 7.17(1.155) で解決済みのバグ

次の表に、このリリースノートの発行時点で解決済みのバグを示します。

ID	見出し
CSCwc13294	ASA : Java Web Launch で ASDM を使用して ASA に接続できない

バージョン 7.17(1.152) で解決済みのバグ

次の表に、このリリースノートの発行時点で解決済みのバグを示します。

ID	見出し
CSCvu60781	ASDM : Launcher 1.9.1 での MAC のサポートが必要
CSCwa48034	ASA #CSCvz89126 の ASDM 側の変更

バージョン 7.17(1) で解決済みのバグ

次の表に、このリリースノートの発行時点で解決済みのバグを示します。

不具合 ID 番号	説明
CSCvw39124	誤った値を設定すると、NSF 待機間隔警告ポップアップが表示されない
CSCvw61817	メモリスタータスの [Context Usage] タブの [Peak Usage (KB)] に ASDM から「該当なし」と表示される
CSCvw86103	マスターとスレーブで同じイベントを表示する ASA クラスタ ASDM リアルタイムログビューア
CSCvx31769	異なる管理者やコンテキスト間で切り替えると、ASDMセッションが突然終了する
CSCvx31842	SDM に HS4.10.x がある場合、Hostscan 4.3.x から 4.6.x への移行手順は表示されません。
CSCvx40955	ASDM がパーサーエラーごとに SCTP ポートを認識しない
CSCvy17527	「ロードバランシング」項目は ASDM には表示されません。
CSCvy38427	ASDM : 複数の AC モジュールを有効にするには、変換ファイル名を「_」の下線で始める必要があります
CSCvz15404	ASA : マルチコンテキストモード : 別のコンテキストに切り替えると、ASDM ロギングが停止します

エンドユーザーライセンス契約書

エンドユーザーライセンス契約書の詳細については、<http://www.cisco.com/jp/go/warranty> にアクセスしてください。

関連資料

ASA の詳細については、『[Navigating the Cisco ASA Series Documentation](#)』を参照してください。

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

The documentation set for this product strives to use bias-free language. For purposes of this documentation set, bias-free is defined as language that does not imply discrimination based on age, disability, gender, racial identity, ethnic identity, sexual orientation, socioeconomic status, and intersectionality. Exceptions may be present in the documentation due to language that is hardcoded in the user interfaces of the product software, language used based on standards documentation, or language that is used by a referenced third-party product.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2022 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。